

記入例

① 防火 管理者選任(解任)届出書  
 防災

② 年 月 日

③ 藤沢市消防長  
 藤沢市南・北消防署長

届出者  
 住 所 \_\_\_\_\_

(法人の場合は、名称及び代表者氏名)

④

氏 名 \_\_\_\_\_

⑤ 防火 管理者を選任(解任)したので届け出ます。  
 防災  
 下記のとおり、

記

防 火 対 象 物	建 築 物 そ の 他 の 工 作 物	所 在 地	⑥					
		名 称	⑦		電話 ( )			
		用 途	⑧	令別表第1	( ⑨ ) 項	收容人員	⑩ 人	
		種 別	⑪ <input type="checkbox"/> 甲種	<input type="checkbox"/> 乙種	管理権原	⑫ <input type="checkbox"/> 単一権原	<input type="checkbox"/> 複数権原	
		区 分	名 称		用 途	收容人員		
		※令第2条を適用するもの	⑬					
		※令第3条第3項を適用するもの	⑭					
防 火 ・ 防 災 管 理 者	選 任	フリガナ 氏名・生年月日	⑮		年 月 日生			
		住 所	⑯					
		選 任 年 月 日	⑰ 年 月 日					
		職 務 上 の 地 位						
	資 格	講 習	種 別 ⑱	<input type="checkbox"/> 甲種 ( <input type="checkbox"/> 新規講習 <input type="checkbox"/> 再講習)		<input type="checkbox"/> 乙種 <input type="checkbox"/> 防災管理 ( <input type="checkbox"/> 新規講習 <input type="checkbox"/> 再講習)		
			講 習 機 関	⑲				
			修 了 年 月 日	⑳ 年 月 日		年 月 日		
	解 任	格	そ の 他 ㉑	令第3条第1項第 号 ( )		令第47条第1項第 号 ( )		
				規則第2条第 号 ( )		規則第51条の5第 号 ( )		
	解 任	氏 名	㉒					
解 任 年 月 日		㉓ 年 月 日						
解 任 理 由		㉔						
そ の 他 必 要 事 項		㉕						
※※ 受 付 欄		※※ 経 過 欄						

※正・副2部必要です  
 修了証の写しを必ず添付してください

- 備考 1 この用紙の大きさは、日本産業規格A4とすること。
- 2 「防火 防災」の横書きの文字については、該当しない文字を横線で消すこと。
- 3 ※印の欄は、消防法施行令第2条を適用するものにあつては同一敷地内にある同令第1条の2の防火対象物ごとに、同令第3条第3項を適用するものにあつては管理権原に属する部分ごとに記入すること。
- 4 消防法施行令第1条の2第3項第2号及び第3号の防火対象物にあつてはその他必要な事項の欄に工事が完了した際の防火対象物の規模を記入すること。
- 5 消防法施行令第3条第2項又は同令第47条括弧書を適用するものにあつてはその他必要な事項の欄に管理的又は監督的な地位にある者のいずれもが防火及び防災管理上必要な業務を適切に遂行することができない理由を記入すること。
- 6 印のある欄については、該当の欄にレを付けること。
- 7 ※※印の欄は、記入しないこと。

項 目		記 入 要 領	
①	届出の標題	「防火」「防災」の文字については、該当しない文字を横線で消します。	
②	年月日	届出する年月日（西暦）を記入します。	
③	宛先	防火対象物等を管轄する消防署長宛て（該当しない文字を横線で消す）とします。 国道1号線付近で南と北に分かれています。不明な場合はそのまま窓口までご持参ください。	
④	届出者	1 当該事業所の管理について権原を有する者の住所、氏名を記入します。 （法人の場合は法人の住所、名称及び代表者の職、氏名を記入します） 2 個人企業の場合は、住所登録している住所とします。	
⑤	防火・防災	「防火」「防災」の文字については、該当しない文字を横線で消します。	
	選任・解任	選任と解任を行う場合は、そのままにします。 選任又は解任のみを行う場合は、不要な文字を横線で消します。	
防火対象物又は建築物その他の工作物	⑥ 所在地	当該防火対象物等の所在地を記入します。	
	⑦ 名 称	「〇〇ビル」など、当該防火対象物等の名称及び電話番号を記入します。	
	⑧ 用 途	当該防火対象物等の用途を、政令別表第1に掲げる用途等により、「飲食店」「物販店」「事務所」等を記入します。複数の用途が存する場合は、「複合用途」と記入します。	
	⑨ 令別表第1	前(9)の欄に記載した当該防火対象物等の用途を、政令別表第1に掲げる用途区分及び項区分に従い、「(3)項口」「(4)項」「(15)項」「(16)項イ」「(16)項口」等の要領で記入します。不明な場合は空白のまま窓口までご持参ください。	
	⑩ 収容人員	規則第1条の3の算定基準により算定した防火対象物等の全体の収容人員を記入します。 詳細な算定方法は、別添ダウンロードファイル「収容人員の算定」を参照してください。	
	⑪ 種 別	政令第3条の防火対象物等の区分に該当する口に✓を付けます。	
	⑫ 管理権原	当該防火対象物等について管理権原が分かれなない場合は「単一権原」の口に✓を、分かれる場合は「複数権原」の口に✓を付けます。	
	⑬ 消防法施行令第2条を適用するもの	1 同一敷地内に同一権限の建物が2以上ある場合、各棟の名称、用途、収容人員を記入します。 2 棟が多くこの欄に書ききれないときは、適宜用紙を添付して記入します。	
⑭ 消防法施行令第3条第3項を適用するもの	1 届出者の管理する事業所が、複数権原の防火対象物の部分で、かつ当該部分が乙種防火管理講習修了者を防火管理者とすることができる部分であり、乙種防火管理講習修了者を選任する場合の当該事業所の名称、用途及び収容人員を記入します。ただし、この事業所で甲種防火管理講習修了者を選任する場合は、⑮に記入してください。 2 前1の事業所が複数になる場合は事業所ごとに記入し、書ききれないときは適宜用紙を添付して記入します。		
防火・防災管理者	選 任	⑮ 氏名・生年月日	防火・防災管理者となる者の氏名と生年月日を記入します。
		⑯ 住 所	防火・防災管理者となる者の住所を記入します。（住民登録をしている住所）
		⑰ 選任年月日	④の届出者から防火対象物の防火・防災管理者として選任された年月日を記入します。
		⑱ 種 別	1 防火管理者→受講した防火管理講習が甲種の場合、甲種の口に✓を付け、新規講習のみ受講の場合は新規講習の口に✓を、再講習を受講している場合は、再講習の口に✓を付けます。乙種講習を受講している場合は、乙種の口に✓を付けます。 2 防災管理者→防災管理の口に✓を付け、新規講習のみ受講の場合は新規講習の口に✓を、再講習を受講している場合は、再講習の口に✓を付けます。
		⑲ 講習機関	防火・防災管理に係る講習を受けた機関名を記入します。 （機関名は、⑰の修了証を発行している名称）
		⑳ 修了年月日	修了証に記載されている年月日を記入します。再講習を受講している場合は、直近で受講した修了証に記載されている年月日を記入します。
		㉑ その他	講習修了以外の資格者で選任する場合の根拠法令及び資格内容を記入します。
	解 任	㉒ 氏 名	防火・防災管理者を解任された者の氏名を記入します。
		㉓ 解任年月日	当該防火対象物等の防火・防災管理者を解任された年月日を記入します。
		㉔ 解任理由	「転勤のため」「退職のため」など具体的に記入します。
⑮	その他必要な事項	1 消防法施行令第3条第2項（業務委託）を適用する場合は、管理的又は監督的な地位にある者のいずれもが防火管理上必要な業務を適切に遂行することができない理由を記入します。 2 防火管理者を共同で選任する場合は、その旨を記入します。 3 届出者の管理する事業所が、複数権原の防火対象物の部分で、かつ当該部分が甲種防火管理講習修了者を防火管理者とする部分である場合の当該事業所の名称、用途及び収容人員を記入します。事業所が複数になる場合は事業所ごとに記入し、書ききれないときは適宜用紙を添付して記入します。	

